

ゆう ざ の き 育座之器

《学校だより》 第 8 号

令和 6 年 12 月 20 日発行

小田原市立千代中学校

校長 中村 栄江

部活動の地域移行は進んでいる？

報道の通り、文部科学省により中学校の部活動が学校から地域に段階的に移行を進めることが示され、令和5年～7年度を改革推進期間としています。

令和6年度が終わりを迎え、現状はどうなっているのか整理してみました。(スポーツ庁 HP 参照)

Q.部活動の地域移行の目的は何ですか？

A. 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を維持するための取り組みです。

Q.「部活動」が「クラブ」に名称変更するのですか？

A.「部活動」は学校の教育活動ですが、クラブは学校とは別の組織で、組織の代表者を中心に運営する団体です。「クラブ」は、スポーツクラブ、民間企業、競技団体など学校外部の団体になります。

教員がクラブ活動に参加する場合がありますが、教員としての職務ではなく、指導者として参加します。



Q.小田原市の取り組みはどうなっていますか？

A. 小田原市は、当面の間学校部活動を維持・継続することとしています。地域の受け皿や団体が少ないことから、部活動指導員（顧問の代わりに指導や引率が可能）や、地域指導者（技術面の指導のみ可能）を派遣し、人材活用などで地域との連携をすすめています。

Q. 近隣の学校の取り組みが気になるのですが…

A. 学校により取り巻く環境や生徒数など様々ですので、それぞれ工夫して対応しています。

例えば…

- 生徒数が減り、部員数も減少している

生徒数減少に伴い、教員数も減少 →近隣の複数の学校で合同で活動
希望者のいない部活動を廃止

- 生徒の体力面や精神的負担の軽減を図る→活動時間を短縮

Q. 千代中の部活動は？

A. 生徒数も多く、どの部活動にも希望者がおり、チームとして成り立っています。顧問を引き受けられる教員が一定数います。この状況は、当たり前でなくともありがたいことです。

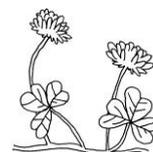
そのため、R6は小田原市のガイドラインを遵守する形で取り組んでいます。ただし、今後の状況によっては他校のような工夫が必要になりますし、行政の方針が変われば、公立中学校なのでそれに準じた形で取り組むこととなります。

地域移行（最近、地域展開という言葉も出てきました。）に向け、今後受け皿となりうる地域のクラブや団体等の活動や、行政の動向に注視していく必要があります、

年度末の学校行事予定

12/20 現在の予定ですので、変更する場合があります。今後配付される月の予定表をご覧ください。また、急な変更がある場合はさくら連絡網にてお伝えします。

2月		3月	
4 (火)	県公立共通選抜志願変更期間 ~6 (木)	7 (金)	卒業式予行練習
6 (木)	1, 2年後期定期テスト	12 (水)	第78回卒業式 1,2年臨時休業
7 (金)	1, 2年後期定期テスト	14 (金)	給食終了
14 (金)	県公立共通選抜 学力検査	17 (月)	新入生体験授業
17 (月)	県公立共通選抜 特色検査等	25 (火)	修了式 離任式
18 (火)	県公立共通選抜 特色検査等	26 (水)	年度末休業 ~4/4 (金)
19 (水)	1年梅林写生会	R7年度始業式・入学式は4/7(月)	
25 (火)	3年卒業遠足		
26 (水)	1, 2年実力テスト		
28 (金)	県公立共通選抜 合格発表		



今年度の卒業式

会場規模の関係で、1, 2年生は代表生徒のみ参列し、臨時休業、自宅学習とします。

前日に3年生とのお別れ集会を設けます。

現時点では、保護者の方の入場制限は行わない予定です。

昨年度、グラウンドを駐車場としましたが、翌日以降の生徒活動に大きな支障が出てしまったため、駐車場の確保は難しい状況です。

保護者の方へのご案内は、後日さくら連絡網にてお知らせします。

1学年 総合発表会



12月18日(水)に総合的な学習の時間で取り組んできた1年間の学びを発表しました。地域の農業についての講話を聴き、田植えなど体験させていただく中で、地域農業や米作りについての現状を知り、課題をとらえ、自分たちにできることを考えてきました。

私たちの生活が地域農業に支えられていることに気づき、関心を持つことが課題解決の第一歩ととらえられたこと、互いに議論する中で学習が深められたことは大きな成果です。プレゼンテーションソフトを使いこなし、堂々と発表する姿はとても頼もしいものでした。当日は、お世話になっている上府中地区まちづくり

委員会の農業プロジェクトの方々にご来校いただき、講評をいただきました。

